

## 京都大学病院の「胸部悪性腫瘍における遺伝子変異に関する臨床的研究」にご参加いただいた皆さまへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

当施設では当大学の倫理委員会の審査を受けて大学長の許可を受けている以下の医学研究を実施しており、遺伝子データ解析の対象被検者として京都大学病院の「胸部悪性腫瘍における遺伝子変異に関する臨床的研究」（研究代表者：京都大学呼吸器外科 伊達洋至）にご参加いただいた方の遺伝子データ（ゲノムデータ）を使用しています。

対象者に該当する可能性のある方で遺伝子データ（ゲノムデータ）及び臨床情報（検査データ）を下記の研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身の遺伝子データ（ゲノムデータ）や臨床情報（検査データ）が本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究の名称（研究番号）	全ゲノム関連解析による日本人における肺がん感受性遺伝子・多型の同定 (G0594)
倫理審査と許可	本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
当大学研究責任者	大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
共同研究機関及び各機関の研究責任者	<ul style="list-style-type: none"><li>● 大学院医学研究科医学専攻器官外科学講座呼吸器外科学教授 伊達洋至</li><li>● 愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部部長 松尾恵太郎</li><li>● 岡山大学呼吸器・乳腺内分泌外科教授 豊岡伸一</li><li>● 兵庫医科大学呼吸器外科講師 近藤展行</li><li>● 香川大学呼吸器・乳腺内分泌外科助教 劉大革</li></ul>
研究の目的・意義	日本人集団に発生する肺がんのリスクに影響を与える遺伝子多型を、全ゲノム関連解析 (GWAS: Genome Wide Association Study)、エクソーム解析、全ゲノムシーケンスを用いて同定する。日本人における肺がんの、新たな早期診断・予防・治療を可能とし、医学の観点から大きな貢献となる。
研究実施期間	2028年3月31日まで
利用する試料・情報の項目	DNA 検体を解析して得られた全ゲノム情報及び収集した臨床情報
試料・情報の利用目的・利用方法	解析対象者より得られた末梢血白血球由来の DNA を用いて全ゲノム解析を実施し、肺がん発症の感受性に関与する遺伝子の特定を試みる。
他の研究機関への試料・情報の提供	上記のゲノム解析によって得られた結果（個人情報を含まない）を上記の共同研究機関に提供予定。試料提供は行なわない。
研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない場合は、連絡先までその旨をお知らせいただくことにより解析対象から削除する。

利益相反について	研究は運営費交付金により実施し、特定の企業からの資金提供を受けていない。本研究の実施にあたり、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査している。
試料・情報管理責任者	大学院医学研究科附属ゲノムセンター教授 松田文彦
問い合わせ・苦情等の連絡窓口（右記のいずれかにご連絡ください）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター 高橋めい子 電話：075-751-4157</li> <li>● 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 電話：075-751-4748</li> </ul> <p>E-Mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp</p>

## 愛知県がんセンターの「初診患者を対象にしたがん遺伝子多型と環境要因の交互作用の研究」にご参加いただいた皆さまへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

当施設では当大学の倫理委員会の審査を受けて大学長の許可を受けている以下の医学研究を実施しており、遺伝子データ解析の対象被検者として愛知県がんセンターの「初診患者を対象にしたがん遺伝子多型と環境要因の交互作用の研究」（研究代表者：愛知県がんセンター 松尾恵太郎）にご参加いただいた方の遺伝子データ（ゲノムデータ）を使用しています。

対象者に該当する可能性のある方で遺伝子データ（ゲノムデータ）及び臨床情報（検査データ）を下記の研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身の遺伝子データ（ゲノムデータ）や臨床情報（検査データ）が本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究の名称（研究番号）	全ゲノム関連解析による日本人における肺がん感受性遺伝子・多型の同定 (G0594)
倫理審査と許可	本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
当大学研究責任者	大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
共同研究機関及び各機関の研究責任者	<ul style="list-style-type: none"><li>● 大学院医学研究科医学専攻器官外科学講座呼吸器外科学教授 伊達洋至</li><li>● 愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部部長 松尾恵太郎</li><li>● 岡山大学呼吸器・乳腺内分泌外科教授 豊岡伸一</li><li>● 兵庫医科大学呼吸器外科講師 近藤展行</li><li>● 香川大学呼吸器・乳腺内分泌外科助教 劉大革</li></ul>
研究の目的・意義	日本人集団に発生する肺がんのリスクに影響を与える遺伝子多型を、全ゲノム関連解析 (GWAS: Genome Wide Association Study)、エクソーム解析、全ゲノムシーケンスを用いて同定する。日本人における肺がんの、新たな早期診断・予防・治療を可能とし、医学の観点から大きな貢献となる。
研究実施期間	2028年3月31日まで
利用する試料・情報の項目	DNA 検体を解析して得られた全ゲノム情報及び収集した臨床情報
試料・情報の利用目的・利用方法	解析対象者より得られた末梢血白血球由来の DNA を用いて全ゲノム解析を実施し、肺がん発症の感受性に関与する遺伝子の特定を試みる。
他の研究機関への試料・情報の提供	上記のゲノム解析によって得られた結果（個人情報を含まない）を上記の共同研究機関に提供予定。試料提供は行なわない。
研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない場合は、連絡先までその旨をお知らせいただくことにより解析対象から削除する。

利益相反について	研究は運営費交付金により実施し、特定の企業からの資金提供を受けていない。本研究の実施にあたり、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査している。
試料・情報管理責任者	大学院医学研究科附属ゲノムセンター教授 松田文彦
問い合わせ・苦情等の連絡窓口（右記のいずれかにご連絡ください）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター 高橋めい子 電話：075-751-4157</li> <li>● 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 電話：075-751-4748</li> </ul> <p>E-Mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp</p>

岡山大学病院の「悪性腫瘍（一部境界悪性腫瘍を含む）の遺伝子解析，ならびに腫瘍細胞株・異種腫瘍モデルの樹立とその遺伝子解析」研究にご参加いただいた皆さまへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

当施設では当大学の倫理委員会の審査を受けて大学長の許可を受けている以下の医学研究を実施しており、遺伝子データ解析の対象被検者として岡山大学病院の「悪性腫瘍（一部境界悪性腫瘍を含む）の遺伝子解析，ならびに腫瘍細胞株・異種腫瘍モデルの樹立とその遺伝子解析」研究（研究代表者：岡山大学呼吸器・乳腺内分泌外科 豊岡伸一）にご参加いただいた方の遺伝子データ（ゲノムデータ）を使用しています。

対象者に該当する可能性のある方で遺伝子データ（ゲノムデータ）及び臨床情報（検査データ）を下記の研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身の遺伝子データ（ゲノムデータ）や臨床情報（検査データ）が本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究の名称（研究番号）	全ゲノム関連解析による日本人における肺がん感受性遺伝子・多型の同定 (G0594)
倫理審査と許可	本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
当大学研究責任者	大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
共同研究機関及び各機関の研究責任者	<ul style="list-style-type: none"><li>● 大学院医学研究科医学専攻器官外科学講座呼吸器外科学教授 伊達洋至</li><li>● 愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部部長 松尾恵太郎</li><li>● 岡山大学呼吸器・乳腺内分泌外科教授 豊岡伸一</li><li>● 兵庫医科大学呼吸器外科講師 近藤展行</li><li>● 香川大学呼吸器・乳腺内分泌外科助教 劉大革</li></ul>
研究の目的・意義	日本人集団に発生する肺がんのリスクに影響を与える遺伝子多型を、全ゲノム関連解析 (GWAS: Genome Wide Association Study)、エクソーム解析、全ゲノムシーケンスを用いて同定する。日本人における肺がんの、新たな早期診断・予防・治療を可能とし、医学の観点から大きな貢献となる。
研究実施期間	2028年3月31日まで
利用する試料・情報の項目	DNA 検体を解析して得られた全ゲノム情報及び収集した臨床情報
試料・情報の利用目的・利用方法	解析対象者より得られた末梢血白血球由来の DNA を用いて全ゲノム解析を実施し、肺がん発症の感受性に関与する遺伝子の特定を試みる。
他の研究機関への試料・情報の提供	上記のゲノム解析によって得られた結果（個人情報を含まない）を上記の共同研究機関に提供予定。試料提供は行なわない。

<p>研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法</p>	<p>ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない場合は、連絡先までその旨をお知らせいただくことにより解析対象から削除する。</p>
<p>利益相反について</p>	<p>研究は運営費交付金により実施し、特定の企業からの資金提供を受けていない。本研究の実施にあたり、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査している。</p>
<p>試料・情報管理責任者</p>	<p>大学院医学研究科附属ゲノムセンター教授 松田文彦</p>
<p>問い合わせ・苦情等の連絡窓口（右記のいずれかにご連絡ください）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター 高橋めい子 電話：075-751-4157</li> <li>● 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 電話：075-751-4748 E-Mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp</li> </ul>

# 兵庫医科大学病院の「胸腹部腫瘍の長期治療成績に関する分子生物学的研究」にご参加いただいた皆さまへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

当施設では当大学の倫理委員会の審査を受けて大学長の許可を受けている以下の医学研究を実施しており、遺伝子データ解析の対象被検者として兵庫医科大学病院の「胸腹部腫瘍の長期治療成績に関する分子生物学的研究」（研究代表者：兵庫医科大学呼吸器外科 近藤展行）にご参加いただいた方の遺伝子データ（ゲノムデータ）を使用しています。

対象者に該当する可能性のある方で遺伝子データ（ゲノムデータ）及び臨床情報（検査データ）を下記の研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身の遺伝子データ（ゲノムデータ）や臨床情報（検査データ）が本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究の名称（研究番号）	全ゲノム関連解析による日本人における肺がん感受性遺伝子・多型の同定 (G0594)
倫理審査と許可	本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
当大学研究責任者	大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
共同研究機関及び各機関の研究責任者	<ul style="list-style-type: none"><li>● 大学院医学研究科医学専攻器官外科学講座呼吸器外科学教授 伊達洋至</li><li>● 愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部部長 松尾恵太郎</li><li>● 岡山大学呼吸器・乳腺内分泌外科教授 豊岡伸一</li><li>● 兵庫医科大学呼吸器外科講師 近藤展行</li><li>● 香川大学呼吸器・乳腺内分泌外科助教 劉大革</li></ul>
研究の目的・意義	日本人集団に発生する肺がんのリスクに影響を与える遺伝子多型を、全ゲノム関連解析 (GWAS: Genome Wide Association Study)、エクソーム解析、全ゲノムシーケンスを用いて同定する。日本人における肺がんの、新たな早期診断・予防・治療を可能とし、医学の観点から大きな貢献となる。
研究実施期間	2028年3月31日まで
利用する試料・情報の項目	DNA 検体を解析して得られた全ゲノム情報及び収集した臨床情報
試料・情報の利用目的・利用方法	解析対象者より得られた末梢血白血球由来の DNA を用いて全ゲノム解析を実施し、肺がん発症の感受性に関与する遺伝子の特定を試みる。
他の研究機関への試料・情報の提供	上記のゲノム解析によって得られた結果（個人情報を含まない）を上記の共同研究機関に提供予定。試料提供は行なわない。
研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない場合は、連絡先までその旨をお知らせいただくことにより解析対象から削除する。

利益相反について	研究は運営費交付金により実施し、特定の企業からの資金提供を受けていない。本研究の実施にあたり、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査している。
試料・情報管理責任者	大学院医学研究科附属ゲノムセンター教授 松田文彦
問い合わせ・苦情等の連絡窓口（右記のいずれかにご連絡ください）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター 高橋めい子 電話：075-751-4157</li> <li>● 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 電話：075-751-4748</li> </ul> <p>E-Mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp</p>

## 香川大学病院の「進行期非小細胞肺癌における遺伝子解析に基づいた化学療法」研究にご参加いただいた皆さまへ

京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター

当施設では当大学の倫理委員会の審査を受けて大学長の許可を受けている以下の医学研究を実施しており、遺伝子データ解析の対象被検者として香川大学病院の「進行期非小細胞肺癌における遺伝子解析に基づいた化学療法」研究（研究代表者：香川大学呼吸器・乳腺内分泌外科 劉大革）にご参加いただいた方の遺伝子データ（ゲノムデータ）を使用しています。

対象者に該当する可能性のある方で遺伝子データ（ゲノムデータ）及び臨床情報（検査データ）を下記の研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

また、ご自身の遺伝子データ（ゲノムデータ）や臨床情報（検査データ）が本研究で使用されるかどうかについて確認されたい場合や本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

研究の名称（研究番号）	全ゲノム関連解析による日本人における肺がん感受性遺伝子・多型の同定 (G0594)
倫理審査と許可	本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
当大学研究責任者	大学院医学研究科附属ゲノム医学センター教授 松田文彦
共同研究機関及び各機関の研究責任者	<ul style="list-style-type: none"><li>● 大学院医学研究科医学専攻器官外科学講座呼吸器外科学教授 伊達洋至</li><li>● 愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部部長 松尾恵太郎</li><li>● 岡山大学呼吸器・乳腺内分泌外科教授 豊岡伸一</li><li>● 兵庫医科大学呼吸器外科講師 近藤展行</li><li>● 香川大学呼吸器・乳腺内分泌外科助教 劉大革</li></ul>
研究の目的・意義	日本人集団に発生する肺がんのリスクに影響を与える遺伝子多型を、全ゲノム関連解析 (GWAS: Genome Wide Association Study)、エクソーム解析、全ゲノムシーケンスを用いて同定する。日本人における肺がんの、新たな早期診断・予防・治療を可能とし、医学の観点から大きな貢献となる。
研究実施期間	2028年3月31日まで
利用する試料・情報の項目	DNA 検体を解析して得られた全ゲノム情報及び収集した臨床情報
試料・情報の利用目的・利用方法	解析対象者より得られた末梢血白血球由来の DNA を用いて全ゲノム解析を実施し、肺がん発症の感受性に関与する遺伝子の特定を試みる。
他の研究機関への試料・情報の提供	上記のゲノム解析によって得られた結果（個人情報を含まない）を上記の共同研究機関に提供予定。試料提供は行なわない。
研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない場合は、連絡先までその旨をお知らせいただくことにより解析対象から削除する。

利益相反について	研究は運営費交付金により実施し、特定の企業からの資金提供を受けていない。本研究の実施にあたり、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査している。
試料・情報管理責任者	大学院医学研究科附属ゲノムセンター教授 松田文彦
問い合わせ・苦情等の連絡窓口（右記のいずれかにご連絡ください）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター 高橋めい子 電話：075-751-4157</li> <li>● 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 電話：075-751-4748</li> </ul> <p>E-Mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp</p>